



おくのやすひさ
奥野泰久議員

県道園井里庄線バイパス 整備の早期実現を

議員 この路線が整備されれば、笠岡美星線と交わる本原で、市道上田頭上長迫線と接続し、さらに、里庄側では福山通運前の交差点へ出て、国道2号バイパスと国道2号玉島笠岡道路にも接続すれば、笠岡市にとつても、北部地域にとつても極めて重要な路線となる。現在の進捗をたずねる。

市長 国道2号玉島笠岡道路、国道2号笠岡バイパスは早ければ平成30年代中盤にも暫定供用が見込まれる。県道園井里庄線の完成年度については、各年度の事業費予算によるため、県からの回答はいただいていない。今後県に対し事業進捗と早期完成を要請し、協力できることがあれば積極的に取り組みたい。



議員 市道上田頭上長迫線の県道笠岡美星線への接続についての基本的考えはどうか。

建設部長 現在のところ計画はないが、地元要望や土地の提供等の合意がいただけるようであれば検討したい。

番町の給食センター 跡地の利用は

議員 番町まちづくり協議会から長年要望を繰り返しているが、番町地区の備品等の収納庫が手狭で困窮しており、同センター跡地を備品収納のために利用できないか。

市長 跡地については民間貸付や有償譲渡を考えている。その際には番町まちづくり協議会を初めとする地域の皆様と協議を行う。

議員 地元の意向を十分酌んでいただくよう重ねて要望する。



ひのつ みちこ
樋之津倫子議員

スポーツ基本法を生かしたスポーツ行政を

議員 スポーツを全ての人々の権利として保障し、地方自治体にその条件整備の役割を求めるスポーツ基本法が制定されて6年目である。市の推進計画に対し、障害のある人も対象にしたアンケートの実施、地域の実態に合わせたスポーツ実施率の目標値設定、運動する子としない子の2極化問題への対応など、基本法に基づいた実態分析と課題対策の充実を求める。

教育長 いつでもどこでも誰でもがスポーツに楽しめるような環境を整えることは大前提である。学校教育との連携や地域スポーツクラブで活性化につなげ、支援したい。指導者育成、意識向上を図る。現行の計画を見直すにあたり、来年度アンケートを実施し、31年度からの振興計画に反映していく。



議員 気軽に楽しめるスポーツとしてサイクリングを提案する。また、市民団体と行政がつながることも大切だと考えるがどうか。

教育長 調査項目に具体的な中身を示し、振興計画見直しに生かしたい。

小中一貫教育の慎重な検討を求めて

議員 小中一貫教育を実証する際、中1ギャップが克服されるとの議論は何の根拠もない。中学校での過度な競争や詰め込み、管理と深く関わっているとの指摘がある。英語教育の小学校への前倒しなど、子供にとつても負担が大きい。小中一貫には慎重な検討を求める。

教育長 教育の質的向上、充実を図るため、広く市民の声を聞き、進めていく。子供たちが混乱しないように対応していく。